

甲斐風土記の丘(曾根丘陵公園)の古墳

丸山塚古墳(甲府市)

正面が甲斐銚子塚古墳から見た丸山塚古墳



円墳/5世紀初めの築造/西側から見たところ



南西側から見たところ/二段築成となっているのが見てとれる



南側から見たところ



東側から見たところ



墳頂に登ってみる



これは主体部である竪穴式石室の位置を示すようだ



石室は南北に向いているという/手前が南、奥が北になる



竪穴式石室（丸山塚古墳）

この石室は、埋葬された豪族の遺体を納めた部屋で、木製の棺の周囲に、板状、柱状の石を積み上げて造られていると思われる。

明治四〇年、開墾によって蓋石が開かれ、鏡一、鉄斧二、鎌一、石釧一などが発見されたが、棺と遺体は残っていない。石室は、長さ五・五メートル、幅は平均〇・九五メートル、高さ〇・八五メートルの規模で、床には赤色顔料が塗られている。

昭和五九年の調査で石室両側中央に三〜四センチの赤色円文が約三〇ほど発見された。

出土品は東京大学所蔵。



石室内部（北壁）



全景

墳丘の裾と墳丘を巡る濠の感じを見る/左手前方に説明板と石碑が見える



国指定史跡

ちようしづかこふんつきたりまるやまづかこふん
銚子塚古墳附丸山塚古墳

昭和五年二月二十八日指定

丸山塚古墳

丸山塚古墳は五世紀初めに造られた、山梨県では最も大きな円墳です。明治四十年に墳頂で石室が見つかり、鏡・武器・装身具などの副葬品が発見されました。石室は竪穴式石室でほぼ南北に向いており、割石を送りに積み重ねて造られました。また、石室の壁には朱彩の円文が見つかっています。墳丘は二段築成で、埴輪が立てられています。銚子塚古墳より少し後に造られ、これに続く権力者の墓と考えられています。

規模

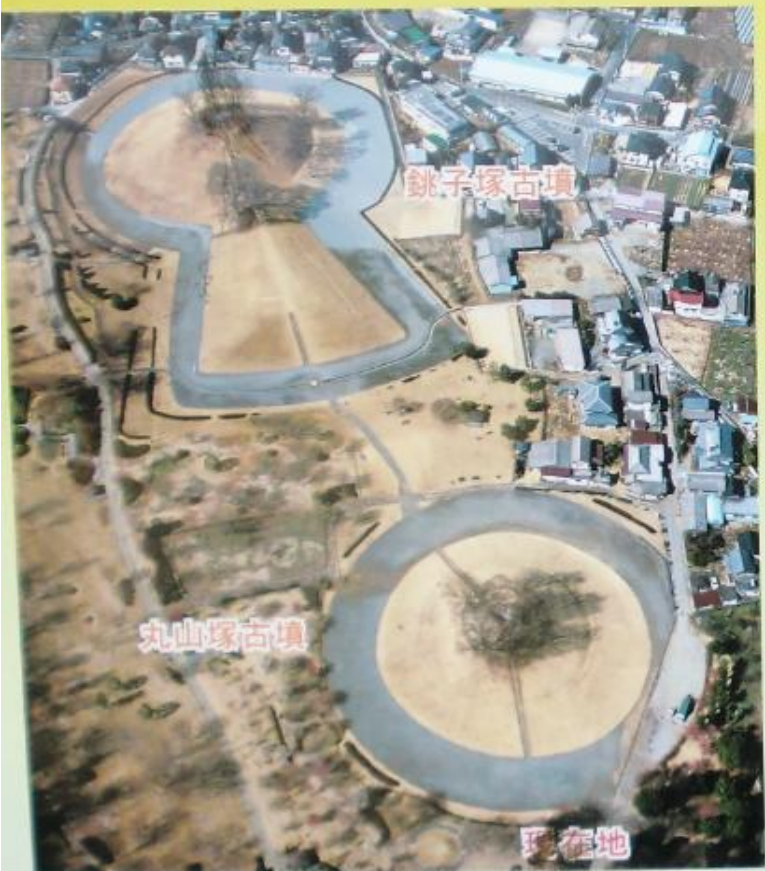
墳丘の直径七十二メートル、高さ十一メートル、墳頂径九メートル、竪穴式石室の長さ五・五メートル、幅一・〇五メートル、高さ〇・八五メートル

副葬品

四神四獣鏡・鉄斧・鉄鎌・鉄剣・鉄銛もり・石釧いしくど（腕輪）など（東京大学に収蔵）

出土品

埴輪・鏡やりがんな（山梨県立考古博物館に収蔵）



平成19年3月31日
文化庁
山梨県教育委員会

左手の石碑には「史蹟 丸山塚古墳」と記されている



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/kohu_maruyama/

http://seesaawiki.jp/w/ksg_recon/d/%b4%dd%bb%b3%c4%cd%b8%c5%ca%af%a1%ca%bb%b3%cd%fc%b8%a9%a1%cb

<http://www.fuwaiin.com/kofun/kofun-soremici/yamanasi-koufu-cyousizuka-kofun/yamanasi-oka-cyousizuka-kofun.html>

<http://members3.icom.home.ne.jp/kofun2-hp/ykaicyoushi.htm>

至 精進湖

甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園



道路標識あり

国道 358 号

P

上の正方形噴霧広場

芝生広場

テニスコート

バーベキュー場

野外ステージ

遊具広場

甲府市役所 中道支所

トイレ

勾玉広場

風土記の丘研修センター

P

P

トイレ

郵便局





© 山梨県立考古博物館 2012